



指定統計第26号 農林業センサス
様式 第 12 号

昭和35年8月1日現在

1960年世界農林業センサス

林業地域調査票

都道府県名	
市郡名	
町村名	
旧市町村名	
基本計画区名	
森林区番号	

(農 林 省)

【1】造林用苗畑面積と苗木生産量〔属地〕

	★ 国 営			公 營				私 営				合計(フ)	
	営林署 (イ)	その他 官庁 (ロ)	計(ハ) [(イ)+(ロ)]	都道府県 (ニ)	市町村 (ホ)	財産区 (ヘ)	計(ト) [(ニ)+(ホ)+(ヘ)]	森林組合 (チ)	苗木販売 者 (リ)	自家養成 (ヌ)	計(ル) [(チ)+(リ)+(ヌ)]		
造林用苗畑面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
苗木 生産 量	スギ①	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
	ヒノキ②												
	アカマツ③ クロマツ												
	カラマツ④												
	エゾマツ⑤												
	トドマツ⑥												
	その他針⑦												
	計⑧ [(①)+...+(⑦)]												
	クヌギ⑨												
	キリ⑩												
	その他広⑪												
	計⑫ [(⑨)+(⑩)+(⑪)]												
	合計⑬ [(⑧)+(⑫)]												

(注) 苗畑面積は昭和35年8月1日現在、苗木生産量は昭和34年8月1日から35年7月31日の間に山行または出荷したもの

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【2】土地面積と林野利用(嵐地)

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計 園区名	森林区 番号	林野利用の状況																																																																																																			
						総面積		林野面積		農地		未立木地		森林でない原野																																																																																											
						面積	率	面積	率	面積	率	面積	率	面積	率																																																																																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

(注) 昭和35年8月1日の現況による
○はfを記載する

農生地(未立木地+森林でない原野)		その他	
面積	率	面積	率
(7+8)	(7+8)	(7+8)	(7+8)
(7+9)	(7+9)	(7+9)	(7+9)
(7+10)	(7+10)	(7+10)	(7+10)
(7+11)	(7+11)	(7+11)	(7+11)
(7+12)	(7+12)	(7+12)	(7+12)
(7+13)	(7+13)	(7+13)	(7+13)
(7+14)	(7+14)	(7+14)	(7+14)
(7+15)	(7+15)	(7+15)	(7+15)
(7+16)	(7+16)	(7+16)	(7+16)
(7+17)	(7+17)	(7+17)	(7+17)
(7+18)	(7+18)	(7+18)	(7+18)
(7+19)	(7+19)	(7+19)	(7+19)
(7+20)	(7+20)	(7+20)	(7+20)
(7+21)	(7+21)	(7+21)	(7+21)
(7+22)	(7+22)	(7+22)	(7+22)
(7+23)	(7+23)	(7+23)	(7+23)
(7+24)	(7+24)	(7+24)	(7+24)
(7+25)	(7+25)	(7+25)	(7+25)
(7+26)	(7+26)	(7+26)	(7+26)
(7+27)	(7+27)	(7+27)	(7+27)
(7+28)	(7+28)	(7+28)	(7+28)
(7+29)	(7+29)	(7+29)	(7+29)
(7+30)	(7+30)	(7+30)	(7+30)
(7+31)	(7+31)	(7+31)	(7+31)
(7+32)	(7+32)	(7+32)	(7+32)
(7+33)	(7+33)	(7+33)	(7+33)
(7+34)	(7+34)	(7+34)	(7+34)
(7+35)	(7+35)	(7+35)	(7+35)
(7+36)	(7+36)	(7+36)	(7+36)
(7+37)	(7+37)	(7+37)	(7+37)
(7+38)	(7+38)	(7+38)	(7+38)
(7+39)	(7+39)	(7+39)	(7+39)
(7+40)	(7+40)	(7+40)	(7+40)
(7+41)	(7+41)	(7+41)	(7+41)
(7+42)	(7+42)	(7+42)	(7+42)
(7+43)	(7+43)	(7+43)	(7+43)
(7+44)	(7+44)	(7+44)	(7+44)
(7+45)	(7+45)	(7+45)	(7+45)
(7+46)	(7+46)	(7+46)	(7+46)
(7+47)	(7+47)	(7+47)	(7+47)
(7+48)	(7+48)	(7+48)	(7+48)
(7+49)	(7+49)	(7+49)	(7+49)
(7+50)	(7+50)	(7+50)	(7+50)
(7+51)	(7+51)	(7+51)	(7+51)
(7+52)	(7+52)	(7+52)	(7+52)
(7+53)	(7+53)	(7+53)	(7+53)
(7+54)	(7+54)	(7+54)	(7+54)
(7+55)	(7+55)	(7+55)	(7+55)
(7+56)	(7+56)	(7+56)	(7+56)
(7+57)	(7+57)	(7+57)	(7+57)
(7+58)	(7+58)	(7+58)	(7+58)
(7+59)	(7+59)	(7+59)	(7+59)
(7+60)	(7+60)	(7+60)	(7+60)
(7+61)	(7+61)	(7+61)	(7+61)
(7+62)	(7+62)	(7+62)	(7+62)
(7+63)	(7+63)	(7+63)	(7+63)
(7+64)	(7+64)	(7+64)	(7+64)
(7+65)	(7+65)	(7+65)	(7+65)
(7+66)	(7+66)	(7+66)	(7+66)
(7+67)	(7+67)	(7+67)	(7+67)
(7+68)	(7+68)	(7+68)	(7+68)
(7+69)	(7+69)	(7+69)	(7+69)
(7+70)	(7+70)	(7+70)	(7+70)
(7+71)	(7+71)	(7+71)	(7+71)
(7+72)	(7+72)	(7+72)	(7+72)
(7+73)	(7+73)	(7+73)	(7+73)
(7+74)	(7+74)	(7+74)	(7+74)
(7+75)	(7+75)	(7+75)	(7+75)
(7+76)	(7+76)	(7+76)	(7+76)
(7+77)	(7+77)	(7+77)	(7+77)
(7+78)	(7+78)	(7+78)	(7+78)
(7+79)	(7+79)	(7+79)	(7+79)
(7+80)	(7+80)	(7+80)	(7+80)
(7+81)	(7+81)	(7+81)	(7+81)
(7+82)	(7+82)	(7+82)	(7+82)
(7+83)	(7+83)	(7+83)	(7+83)
(7+84)	(7+84)	(7+84)	(7+84)
(7+85)	(7+85)	(7+85)	(7+85)
(7+86)	(7+86)	(7+86)	(7+86)
(7+87)	(7+87)	(7+87)	(7+87)
(7+88)	(7+88)	(7+88)	(7+88)
(7+89)	(7+89)	(7+89)	(7+89)
(7+90)	(7+90)	(7+90)	(7+90)
(7+91)	(7+91)	(7+91)	(7+91)
(7+92)	(7+92)	(7+92)	(7+92)
(7+93)	(7+93)	(7+93)	(7+93)
(7+94)	(7+94)	(7+94)	(7+94)
(7+95)	(7+95)	(7+95)	(7+95)
(7+96)	(7+96)	(7+96)	(7+96)
(7+97)	(7+97)	(7+97)	(7+97)
(7+98)	(7+98)	(7+98)	(7+98)
(7+99)	(7+99)	(7+99)	(7+99)
(7+100)	(7+100)	(7+100)	(7+100)

【3】製炭

この【3】製炭の調査項目は、(1)販売用製炭を行なった戸数・体数に該当があった旧市町村についてのみ調査する

1. 昭和34年度中の製炭について(嵐地)

(1)販売用製炭を行なったもの(戸数・体数)

製炭者	黒炭	白炭	計
自営製炭世帯 (イ)	A	a	A+a
企業製炭者 (ロ)	B	b	B+b
旧市町村貯産区 (ハ)	C	c	C+c
都道府県管 (ニ)	D	d	D+d
★国管 (ホ)	E	e	E+e
その他管 (ヘ)	F	f	F+f
計 (ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)

(2)販売用製炭量(比率)

製炭者	比率
自営製炭世帯 (イ)	(A+a) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)
企業製炭者 (ロ)	(B+b) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)
旧市町村貯産区 (ハ)	(C+c) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)
都道府県管 (ニ)	(D+d) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)
★国管 (ホ)	(E+e) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)
その他管 (ヘ)	(F+f) × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)

(3)原木の依存先

①保有山林からの原木を主とするもの

②購入原木を主とするもの

①主に国有林材

②主に都道府県有林材

③主に旧市町村有林材や貯産区有林材

④主に私有林材

(注) A=B+C, C=D+E+F+G, a=b+c, c=d+e+f+g

製炭量の大きさ別

製炭者	50俵未満 (イ)	50~100俵 (ロ)	100~300俵 (ハ)	300~500俵 (ニ)	500~700俵 (ホ)	700~1,000俵 (ヘ)	1,000~2,000俵 (ト)	2,000~3,000俵 (チ)	3,000俵以上 (リ)	計(ア)=A [(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)]
自営製炭世帯										
炭世帯比率	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(チ)+(リ)

製炭量の大きさ別

製炭者	500~1,000俵 (イ)	1,000~2,000俵 (ロ)	2,000~3,000俵 (ハ)	3,000~5,000俵 (ニ)	5,000~7,000俵 (ホ)	7,000~10,000俵 (ヘ)	10,000俵以上 (ト)	計(ア)=A [(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)]
企業体数								
製炭者比率	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	() × 100 / (イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)

(5)自営製炭世帯について

①専業・兼業別戸数

自営製炭が専業 ①/A × 100 %

自営製炭が主 ②/A × 100 %

自営製炭が従 ③/A × 100 %

計 ①+②+③=A

②居住地の旧市町村内外別戸数

旧市町村内 ① 旧市町村外 ② 計 ③=A

③主な出荷先別戸数

製炭者	農協へ	製炭者の組合へ	新炭商の組合へ	商人へ	消費者へ	計 ⑦=A
製炭者	() %	() %	() %	() %	() %	() %
計 ⑦=A	() %	() %	() %	() %	() %	() %

(6)集荷機関別の旧市町村内生産木炭集荷量(昭和34年度中の自営製炭世帯の木炭につき)

製炭者	農協が	製炭者の組合が	新炭商の組合が	商人が	計 ⑧
製炭者	() %	() %	() %	() %	() %
計 ⑧	() %	() %	() %	() %	() %

2. 稼働炭が多数と製炭最盛月(昭和34年度中の製炭最盛月について) (嵐地) ①稼働炭が多数 炭 ②最盛の月 月

3. 木炭倉庫数(昭和35年8月1日現在) (嵐地)

製炭者	所 有 主 体 別					計 (ル) [(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)]
	自営製炭世帯が単独で (イ)	自営製炭世帯が共同で (ロ)	企業製炭者 (ニ)	製炭者の組合 (ホ)	小計 [(イ)+(ロ)+(ニ)+(ホ)]	
種数						
坪数						

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計 園区名	森林区 番号	1	2	3	4	5

4. 焼 子 (属地)

昭和34年度中に焼子として焼いたものがある世帯数

	焼子が専業の世帯 (イ)	焼子が主の世帯 (ロ)	焼子が従の世帯 (ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
実 数	〃	〃	〃	〃
比 率	()%	()%	()%	(100)%

5. 製炭の動向 (属地)

(1) 昭和34年度の自営製炭、企業製炭の旧市町村内製炭量は

昭和32年度に比べて

① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

④ 昭和32年度からの年々
の増減傾向は

① 減少一方 () ② 増加一方 () ③ 増と減両方 ()

(2) 昭和34年度の自営製炭による旧市町村内製炭量は

昭和32年度に比べて

① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

(3) 昭和34年度の自営製炭世帯数は

昭和32年度に比べて

① 減 () → ① $\frac{A-\text{イ}}{A+\text{イ}} \times 100$ %

② 増 () → ② $\frac{A-\text{ロ}}{A-\text{ロ}} \times 100$ %

③ 増減なし ()

(4) 昭和34年度の自営製炭世帯1戸当り製炭量は

昭和32年度に比べて

① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

(5) 昭和34年度の企業製炭者数は

昭和32年度に比べて

① 減 () → ① $\frac{A-\text{イ}}{A+\text{イ}} \times 100$ %

② 増 () → ② $\frac{A-\text{ロ}}{A-\text{ロ}} \times 100$ %

③ 増減なし ()

(6) 昭和34年度中に広葉樹の新炭用原木がパルプ用として販売されている状況

販売された () 販売されなかった ()

6. 昭和33年度に自営製炭または焼子をやったが、34年度はやらなかったものがある世帯

ある () ない ()												
自営製炭をやったものがある世帯						焼子をやったものがある世帯						
総 戸 数 (イ)	専業であったもの					総 戸 数 (ロ)	専業であったもの					業 業 あ っ た た だ の 焼 子 で
	焼 子 を や っ た 世 帯 (ハ)	焼 子 以 外 の 林 業 賃 働 を や っ た 世 帯 (ニ)	林 業 以 外 の 賃 働 を や っ た 世 帯 (ホ)	其 他 (ヘ)	こ の うち 地 元 を は な れ て 出 稼 に 行 っ た もの (ト)		焼 子 を や っ た 世 帯 (イ)	焼 子 以 外 の 林 業 賃 働 を や っ た 世 帯 (ロ)	林 業 以 外 の 賃 働 を や っ た 世 帯 (ハ)	其 他 (ニ)	こ の うち 地 元 を は な れ て 出 稼 に 行 っ た もの (ト)	
(イ)+(ロ)	(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)	(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)+(ヘ)+(ト)

【4】製 薪 (昭和34年度の) (属地)

1. 販売用新生産量

	生産主体別				計 (ホ) [(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)]
	国 営 (イ)	都 道 府 県 営 (ロ)	市 町 村 営 財 産 区 営 (ハ)	私 営 (ニ)	
普通薪	〃	〃	〃	〃	〃
そ だ	〃	〃	〃	〃	〃

2. 主として人を雇って1,000米以上の販売用製薪を行った製薪者数

総 数 (イ)	製 薪 量 の 大 き さ 別			
	1,000 - 5,000 束 (ロ)	5,000 - 10,000 束 (ハ)	10,000 - 50,000 束 (ニ)	50,000 束 以上 (ホ)
(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)				

都道府県名	市 郡 名	町 村 名	旧市町村名	基本計 画 区 名	森林区 番 号	1	2	3	4	5
-------	-------	-------	-------	--------------	------------	---	---	---	---	---

【5】林野の所有と保有 (属地)

1. 50町以上の森林保有者

(1) 保有者数と保有森林面積

保有形態別	戸 体 数 (イ)	保有森林面積 (ロ)	(イ) に つ き		計 (ハ) (イ)+(ロ)+(ニ)
			在 村 (イ)	不 在 村 (ニ)	
個 人 ①	〃	〃	〃	〃	〃
会 社 ②	〃	〃	〃	〃	〃
社 寺 ③	〃	〃	〃	〃	〃
共同その他 ④	〃	〃	〃	〃	〃
計 (①+②+③+④) ⑤	a	b			

(注) ○在村・不在村は、旧市町村内に居住しているかどうかによる。
○全社は本社によって在村か不在村かを定める。

平均と
比率

$$\frac{b}{a} = \frac{\text{平均}}{\text{比率}}$$

$$\frac{b}{[2]のn} \times 100 = \text{比率}$$

符子 備 号 欄	I	II	III
----------------	---	----	-----

(2) 保有者の主要

	自 営 産 業																										職 員 賃 働 其 他 計		
	農 業	林 業	製 炭 業	木 材 採 出 業	木 材 生 産 業	其 他 の 林 業	漁 業	水 産 養 殖 業	製 紙 業	製 木 材 加 工 業	製 造 業	其 他 の 製 造 業	建 設 業	卸 売 業・小 売 業	木 材 商 販 業	其 他 の 卸 売 業	全 職 保 険 業	不 動 産 業	運 輸 業	電 気 業	ガ ス 業	サ ー ビ ス 業	其 他	30	40	50			
個 人	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
会 社	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

*2. 国有林に契約している部分林面積

*3. 国有林に契約している共用林野面積

共用 林 野 の 種 類 別 面 積	普通共用林野 ①	〃	〃
	薪炭共用林野 ②	〃	〃
	特別薪炭共用林野 ③	〃	〃
	簡易共用林野 ④	〃	〃
	放牧共用林野 ⑤	〃	〃
	計 (①+②+③+④+⑤) ⑥	〃	〃

比 率 $\frac{②+③+④+⑤}{[2]のh} \times 100 =$

*4. 官行造林地面積

7. 公有林野を地元民が共同や個人々々で利用している面積 (分収林は除く)

所有形態別	利用の仕方	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]		
		薪炭林として (イ)	採取地として (ロ)	放牧地として (ハ)
都道府県有林 ①	〃	〃	〃	〃
市町村有林 ②	〃	〃	〃	〃
財産区有林 ③	〃	〃	〃	〃
計 (①+②+③) ④	〃	〃	〃	〃

8. 個人有林への分収林

個人有林へ他のものが契約している分収林が

あ る () → (1) その発生の時期は → 昭和20年以前 () 昭和21年以降 ()

な い () (2) 昭和21年当時の分収林件数に 増加している () 減少している () 増減なし ()

比 べて 現 在 は → ()

都道府県名	市 郡 名	町 村 名	旧市町村名	基本計 画 区 名	森林区 番 号	1	2	3	4	5
-------	-------	-------	-------	--------------	------------	---	---	---	---	---

【6】育 林〔属地〕

1. 植林面積と主要樹種（昭和34年度中）

植付主体別	植付した土地の種類別面積				主要樹種（面積第1位○、第2位○印）							
	人工林の 伐採跡地へ (イ)	天然林の 伐採跡地へ (ロ)	山林でな かっ た土地へ (ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]	ス ギ	ヒ ノ キ	ア カ マ ツ	カ ラ マ ツ	エ ゾ マ ツ	ト ド マ ツ	そ の 他 針 葉 樹	そ の 他 広 葉 樹
★ 国 営 ①												
公 営	都道府県営 ②											
	市町村営 ③											
	財産区営 ④											
私 営 ⑤												
計(①+②+③+④) ⑥												

比	$\frac{a}{d} \times 100$	$\frac{b}{d} \times 100$	$\frac{c}{d} \times 100$	$\frac{1}{2} \times 100$	$\frac{10}{11} \times 100$	$\frac{1}{11} \times 100$
率	%	%	%	%	%	%

2. 植付本数など

(1) 最近普通に行なわれている反当り植付本数（私営についてだけ、上記1で○と○のついた樹種について）

スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	エゾマツ	トドマツ	その他針葉樹	クヌギ	その他広葉樹

(2) 最近普通に行なわれている反当り植付本数は、昭和21年頃に比べて（私営についてだけ、上記1で○印がついた樹種につき）

増えている () 減っている () 同じ ()

(3) 昭和34年度の植付苗木の種類別本数割合（私営についてだけ）

部 府 県	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	エゾマツ	トドマツ	その他	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]	計 (ハ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
北海道							100	
道							100	

(4) 最近普通に伐採されている林とその平均胸高直径（私営についてだけ、用材林・薪炭林別に、最も生産量が多い樹種それぞれ一つについて）

（用材林）			（薪炭林）		
主要樹種名	最近普通に伐採されている林	平均胸高直径	主要樹種名	最近普通に伐採されている林	平均胸高直径
		年 cm			年 cm

この林分は昭和26年頃に比べて
短かくなっている 長くなっている 同じ

この林分は昭和26年頃に比べて
短かくなっている 長くなっている 同じ

(5) 植付と用材林伐採の最盛の月（私営についてだけ）

植付の最盛の月 月 用材林伐採の最盛の月 月

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5

【7】木材生産

1. 業材生産業

(1) 業材生産業者 個人

経営形態別	昭和34年度中に他人の立木を買って業材生産をやったもの				昭和34年度中に人を雇って他人の立木の伐採や搬出をやったもの (ホ)	合計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
	業材生産のみ (イ)	業材生産と製材業 (ロ)	業材生産と他種業 (ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]		
個人 ①						
会社 ②						
共同 ③						
協同組合 ④						
森林組合 ⑤						
その他 ⑥						
計 (①+②+③+④+⑤+⑥) ⑦						

(2) 国営・公営と私営の50町以上の森林保有者で直営の伐採事業をやったもの〔属地〕

事業体数	昭和34年度中に旧市町村内の保有森林で直営の伐採をやったもの				
	★国 営 (イ)	都道府県 営 (ロ)	市町村 営 (ハ)	財産区 営 (ニ)	私営の50町以上の森林保有者 (ホ)
	()	()	()	()	()

(注) ○()内は積出あれば○印
○(ホ)は個人・会社・社等、その他を含む

2. 業材生産量（昭和34年度中の）〔属地〕

(1) 人工林材・天然林材別生産量（直営生産だけでなく、立木販売も含む）

	★国有林材 (イ)	都道府県 有林材 (ロ)	市町村 有林材 (ハ)	財産区 有林材 (ニ)	私有林材 (ホ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
人工林材 ①	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
天然林材 ②						
計 (①+②) ③	a	b	c	d	e	f

(注) 生産量はすべて産出による

(2) 用途別生産量

(注) パルプ用にはチップ用を含む。ただし製材によるものは除く

	製材用 (イ)	パルプ用 (ロ)	合単板用 (ハ)	電柱用 (ニ)	杭木用 (ホ)	杭丸太用 (ヘ)	足場丸太用 (ト)	鋸木用 (チ)	その他 (リ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
★国有林材 ①	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
公有林材 ②										b
私有林材 ③										c
計 (①+②+③) ④										d

(1)のa=(2)のa, (1)の(b)+(c)+(d)=(2)の(b), (1)のe=(2)のc, (1)のf=(2)のd

3. 薪炭材生産量（昭和34年度中につき、直営生産だけでなく立木販売も含む）〔属地〕

★ 国有林材 (イ)	都道府県 有林材 (ロ)	市町村 有林材 (ハ)	財産区 有林材 (ニ)	私有林材 (ホ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
Mt/m ³	Mt/m ³	Mt/m ³	Mt/m ³	Mt/m ³	Mt/m ³

【8】林業賃労働

1. 林業賃労働従事者数と人数 個人

	農 家 (イ)	非 農 家 (ロ)	計 (ハ) [(イ)+(ロ)]
昭和34年度中に30日以上従事したものがいる世帯数			
昭和34年度中に30日以上従事した人数	A	A	A

2. 男女別平均賃金（私営についてだけ）〔属地〕

	育 苗	植 付	伐 木	造 材
男	円	円	円	円
女				

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5

【9】地価・立木価〔属地〕

1. 業地売買価（私有林の最近の事例について）

2. 土地売買件数（私有林野につき、昭和34年度中）

最高 反当 _____ 円 最低 反当 _____ 円 台帳地目
山林 _____ 件 台帳地目
原野 _____ 件

3. 立木売買価（私有林の主要樹種で、最近普通に採られている林分のものにつき、最近の事例による）

用材林（生産量の主な樹種一つにつき）			薪炭林（生産量の主な樹種一つにつき）		
樹種名	最高	最低	樹種名	最高	最低
	0.278m ² G	0.278m ² G		0.278m ² G	0.278m ² G
	円	円		円	円

(注) 0.278m²=1石 (注) 0.278m²=1層積石

【10】林産物市場〔属地〕

1. 旧市町村内林産物の主な市場

主な市場名	運搬方法（主なもの一つに○印）				
	自動車	鉄道	流送	舟運	その他
(1) 製材用業材 →	()	()	()	()	()
(2) その他の業材 →	()	()	()	()	()
(3) 製材品 →	()	()	()	()	()
(4) 薪炭 →	()	()	()	()	()

(主な市場がその旧市町村のときは市場名は「地元」と記入し、運搬方法は記入しない)

2. 林産物消費工場

(1) 製材工場 → 工場数 _____ kW数 _____ kW 業材消費量 _____ m³ 昭和34年中の

(2) その他の消費工場

(注) 業材だけを消費するチップ工場は除く

	業材を消費するもの									
	パルプ工場	合単板工場	造山工場	チップ工場	木製履物工場	屋根板工場	掃帚工場	経木折箱工場	木毛工場	割箸工場
工場数	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
昭和34年中の消費量	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
	業材を消費するもの(つづき)					薪炭を消費するもの				
	マツナ輪木工場	鉛筆板工場	計			窯業工場	二酸化炭素工場	成型木炭工場	計	
工場数	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	
昭和34年中の消費量	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³					

【11】その他

1. 旧市町村内の車道・牛馬車道の延長〔属地〕 km (注) ○林道以外の私道は除く
○旧市の市街地の道路はすべて除く

2. 林業用機械の所有者数と台数（私有のものだけ） **属人**

	個人有		会社有		その他有		計	
	所有者数 (イ)	台数 (ロ)	所有者数 (イ)	台数 (ニ)	所有者数 (イ)	台数 (ハ)	所有者数 (イ)+(イ)+(イ)+(イ)	台数 (ロ)+(ロ)+(ロ)+(ロ)
チェーンソー	人	台	人	台	人	台		台
集材機	人	台	人	台	人	台		台
架線用索	人	台	人	台	人	台		台
架線用鉄	人	台	人	台	人	台		台
アンシユークリーナー	人	台	人	台	人	台		台

3. 世帯数と人口〔属地〕

(注) 専従帯は除く

総世帯数 _____ 戸 総人口 _____ 人

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計 商区名	森林区 番号	1	2	3	4	5